

監督	木俣録八	コーチ	富澤・岩田・本橋・川端・田中	<h1>弓道</h1>	第454号
主将	河合亮一	副務	金子哲也		2015. 11. 24
副将	頼政秀幸		藤原 真		NTT東日本東京
主務	河合亮一	部報担当	近藤/藤原		弓道部

全日本実業団 第63回弓道大会 & 第35回弓道遠的大会

7年 11月 6日(金)～ 8日(日): 明治神宮武道場至誠館第1・2弓道場 参加: 21都府県: 67事業所:132(女子 10)チーム:900名

” 事業所対抗戦は2次予選に4チーム進出したが惜しくも全滅。女子の部4位敢闘賞。産業別戦ではAが3位入賞。個人戦も全滅”

”遠的大会は団体・個人とも入賞逸す”

・競技方法

事業所対抗戦1次予選: 3人×4射+2人×4射=20射得点制で、上位96チームを選抜する。

産業別戦: 電力・通信・電機の部他4業種別。順位は1次予選の成績で決定する。1-6位:7-10位は敢闘賞

事業所対抗戦2次予選&トーナメント組み合わせ抽選: 1次予選終了後事業所対抗戦2次予選進出96チームを、8チームずつ12ブロックに分かれてのトーナメント戦の立ち順抽選を行い、競技は5人1手連続射込み得点制。12ブロックの勝利チームを選出する。

決勝戦: 2次予選トーナメント戦勝者12チームにより、3人×4射+2人×4射=20射得点制で順位決定する。1-6位:7-12位は敢闘賞

今年も明治神宮開催となり例年並みの参加状況でありました。

・初日の6日には、午後から公開練習には横瀬・大井・川上3部員が、総会・監督会議には木俣監督が出席後、本部役員・事業所代表者で明治神宮において大会の安全祈願を行い17時半解散。

・**2日目7日(土)**には心配した雨も降らず、予定通り選手が矢道に整列して開会式が挙行された。前年遠近両種目優勝したUFJスチールから優勝旗・優勝杯が返還され、選手宣誓、矢渡しもUFJスチールの選手が行った後、**近的事業所対抗戦1次予選**(上位96チーム選抜)兼産業別戦(5部門)が開始された。NTT東京からは5チーム(女子チームはH18年以来久々)出場し、1次予選通過57点以上の96チームで、Cチームのみ49点で惜しくも落選。4チームが2次予選進出し、2次予選トーナメントでAとBが同枠になり2回戦で同士打ちとなる組合せ。

また**産業別戦**では、Aチームが130点で「電力電信電機」の部で3位、H19年から9年連続入賞す。

2次予選終了後**女子個人戦**に2部員出場したが大井3点、中山8点と振るわず。 ”帰りはちよいと苦い酒”

・**3日目**は、雨模様となり9時半から近**男子個人戦**2部員出場、武田健6点、金子5点と共に振るわず。

10時40分から**2次予選**4チーム出場したが1回戦**B**が北陸電力に21対20で僅差の勝利。**A**は神戸市役所を30対11で撃破、2回戦で**B/A**同士打ちとなり8対38の大差で**A**が貫録で勝利したが、3回戦で諏訪市役所に34対52の大差で決勝進出を阻まれた。**D**は1回戦日立製作所Dと対戦25対23の僅差で勝利したが、2回戦で三井住友Bkに14対29で敗退。**女子のE**は1回日本田技研Eと17対36であえなく敗戦。今回は2次予選で全滅した。

4時から**交歓射会**木俣11点、近藤10点、G松本女子8点で入賞に届かず。

15時半から**女子決勝戦**に我がE チームが臨んだが、3位入賞に3点足らず4位の成績でH18年以来の敢闘賞を受賞したこめでたしめでたし。今回は大井、佐藤哉のベテラン部員に、今年度入社の新人3名が参加してくれたことで、何とか女子チームが編成出来、今後の実業団大会の女子部員としての活躍を期待したい。

遠的大会は9時20分から開始され、近的競技の合間を縫っての出場であり、Aが池田16点・藤原12点と皆中し、田中部員も3中15点=43点と健闘したが、高得点が出ず惜しくも3点差で6位入賞を逃し9位の成績となってしまった。Bは16点、Cは22点と入賞遠く、個人戦も池田の27位が最高であった。(詳細結果は3ページ以下)
16時20分からの表彰式の目標に、記録委員兼務の部員が記録の取り纏めや賞状印刷に忙しく働いてくれて、16時40分無事終了した。

・大会役員として今回も、全実弓連の副会長兼務専務理事の近藤顧問が大会副会長と大会委員長として、大会運営全般の仕切り役を、また、大会の核となる記録副委員長には藤原・頼政両部員が、更に同委員には競技参加部員並びにゲスト部員が協力し、競技役員兼務で運営に参画し、大会を盛会無事に収めた。特に採点記録、順位計算、賞状作成等含めた記録プログラムは、6年前に近藤顧問が副会長就任を機に、記録作業効率化のため、頼政・藤原両部員に協力要請し仕事の合間に無償で作成してもらったものであります。このシステム構築により、記録作業や賞状作成が迅速化し、役員並びに参加者から好評を得ています。皆さん競技参加しながら大会運営の協力に対し、熊澤大会会長から感謝の言葉をいただきました。目標成果にあと1歩お疲れ様でした。

・毎回の大会に、競技役員兼務での参加は、競技に集中出来ないため、あまりやりたがらないのが本音であろうが、我が部員は過去から東京都実業団事業等に対しても積極的に運営に協力参画し、また地域弓連においても役員として事業参画している部員も多く、大会運営は手慣れたもの。特に実業団弓道は、参加者の協力で開催運営で成り立っており、また特認サークルの活動趣旨も理解浸透していることで、各種競技団体への運営参画は当然と、不満を云う部員がいないことが誇りでもあります。ここ数年近藤副会長が全実弓連常任理事会で、参加事業所への運営参画の呼び掛けに答えてくれる事業所が増え、常任理事事業所を増やし我が部員の協力要請人数も抑えられるようになりました。また今回は東京都学生弓道連盟から11大学26名が競技役員として2日間協力していただき、選手兼任役を減らし、競技に専念することができたことに感謝します。来年伊勢神宮弓道場にて10月7日から9日開先が決定しました。更なる研鑽で、もう1段這い上がりましょう。

入賞歴

事業所対抗戦		産業別(電力・電信・電機)		個人男子	交歓	遠的大会	
						事業所対抗	個人男子
H 4: 8位	H23: 5位	S62: 3位	H16: 3位	H 4: 3位 木俣	S63: 2位 島田		
H 9: 3位	H24: 4位	H 2: 優勝	H17: 3位	H11: 2位 木俣	H 5: 2位 近藤	H 3: 優勝	H 3: 4位杉山
H11: 敢闘賞	H26: 6位・敢闘賞	H 4: 4位	H19: 3位	H13: 4位杉山	H10: 優勝 近藤	H 5: 5位	H 5: 4位田中
H12: 3位 ・5位・6位		H 7: 4位	H20: 優勝	H15: 4位頼政	H12: 6位清水	H16: 6位	H11: 3位 藤原
H15: 5位		H10: 4位	H21: 9位(敢闘賞)	H25: 5位河合	H14: 5位保科	H17: 3位	H13: 3位 及川
H16: 敢闘賞		H11: 5位	H22: 9位(敢闘賞)	H26: 3位 池田	H17: 3位 富澤	H18: 5位	H17: 優勝 藤原
H18: 4位	女子団体	H12: 3位 ・6位	H23: 3位		H22: 5位本橋	H19: 2位	: 4位及川
H20: 優勝	H16: 3位	H13: 2位	H24: 3位	個人女子	H23: 2位 木俣	H21: 6位	H18: 4位頼政
H21: 5位	H17: 敢闘賞	H14: 2位 ・5位	H25: 5位	H14: 6位佐藤哉	H25: 6位本橋	H22: 5位	H20: 優勝 藤原
	H18: 敢闘賞	H15: 3位	H26: 4位	H17: 4位出井		H24: 4位	H22: 6位池田
	H27: 敢闘賞		H27: 3位				

”” 第35回遠的大会 ”” 団体戦・個人戦共入賞出来ず

近的競技の合間を縫っての出場であり、**団体戦**:Aが池田16点・藤原12点と皆中し、田中部員も3中15点=43点と健闘したが、高得点が出ず惜しくも3点差で6位入賞を逃し9位の成績となってしまった。Bは16点、Cは22点と入賞遠く、**個人戦**も池田の27位が最高であった。

第35回遠的大会結果

遠的大会(参加:団体戦143チーム:個人男子342名:女子93名)

順位	遠的団体事業所対抗戦	点	個人戦男子		個人戦女子		
優勝	アスモ A	NR	67点	小栗崇志 アスモ	30点	山内絵理加 ダイキ	25点
2位	DCM ダイキ		59点	南井加津雄 堀場製作所	27点	早川知子 イビデン	25点
3位	アスモ B		55点	西村英信 JFCスチール	27点	玉木里奈 ダイキ	24点
4位	イビデン B		53点	岡本圭介 アスモ	25点	片山正美 アスモ	22点
5位	JFEスチール B		48点	朝田晋輔 JR東海浜松	23点	中神佐奈美 アスモ	20点
6位	堀場製作所		46点	小矢島(JR貨物)花井(デンソー)	23点	村下友紀恵 日野自動車	18点

NTT東京チーム成績

氏名	1	2	3	4	合計	個人順位
池田	5	3	3	5	16	27位
藤原	3	3	3	3	12	66位
田中	0	5	3	7	15	32位
合計	点				43	
成績	団体戦順位				9位	
近藤	0	0	3	0	3	182位
保科	0	0	0	0	0	220位
横瀬	5	5	0	3	13	51位
合計	点				16	
成績	団体戦順位				73位	

大会を振り返って

皆さん稽古不足はさておき、平常心で臨めましたか。的にとらわれず心で正鵠を狙う。会は無限の引き分けであり、その延長で離れよ。12月からの中塚師範の研修会で修正を。

氏名	1	2	3	4	合計	個人順位
大井	0	0	0	0	0	女62位
頼政	3	3	0	5	11	69位
富澤	3	5	3	0	11	69位
合計	点				22	
成績	団体戦順位				47位	

木俣監督: 全実大会お疲れ様でした。

抽選の妙とはいえ、団体戦決勝に1チームも残れなかったのは、非常に残念でした。それでも、徐々に女子チームの参加ができたので、活気のあるいい大会になったと思います。

練習の成果を発揮できた方もいますし、今一歩という方もいました。それぞれ課題も発見できたと思いますので、その気持ちを忘れずに、来年の伊勢まで、頑張っていきましょう。

最後に、役員として、お手伝いいただいた方々、ありがとうございました。お疲れ様でした。

大井部員: 女子チーム4位入賞出来た事嬉しく思います。応援ありがとうございました。

NTTの明日を担う新人女子3人それぞれがいい仕事をしてくれたと思います。今後の活躍、頼もしい限りでございます。また、予選では佐藤哉さんの見事な10点が我がチームを救ってくれました。ところが、大井、実は、入部8年にして念願の全実女子チームでの初出場、的に囚われ全く自分射が引けずに終わりました。そこで、本気に気合いを入れて、1年先の全実女子だけの為にこの1年の練習を費やすことを誓います。

中島部員: 今年度NTT弓道部に入部し、新入部員であるにも関わらず、さまざまな大会に選手として出場させていただきました。

全日本実業団大会は中でも大きな大会で、学生時代から憧れていた大会でもありました。

そのような大会に、NTT弓道部唯一の女子チームの選手として出場させていただけたことをとてもうれしく思っています。

試合ではあと一歩のところに入賞を逃してしまい、自分自身の力を出し切ることもできませんでしたが、全国から集まった他のチームの選手や、同じNTT弓道部で活躍していた先輩方、そして何よりも、同じ本年度入部した女子部員2人の活躍に刺激を受けました。

現在はたくさんの試合に出場させていただいているにも関わらず、結果を残せていない状況にありますが、

これからさらに練習に励んで、次の大会では目標を入賞ではなく優勝すること、とできるように頑張っていきたいと思っています。

今後の事業予定

H26. 12. 19(土) 部独自研修会(岩田教室)開催
12時集合

H26. 12. 26(土) 360回部例会・大掃除
9時集合

12月31日(水) 108射会(地域交流活動)(研修センタ) 10時-16時

1月 3日(土) 射初め(地域交流活動)(研修センタ) 10時-19時(直ライ含む)

1月31日(土) 361回部例会・研修会(講師 中塚師範)